

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 エスイー

上場取引所 東

コード番号 3423 URL <http://www.se-corp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森元峯夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 塚田正春

TEL 03-3340-5500

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,898	10.2	702	55.9	722	68.4	420	87.2
25年3月期第3四半期	11,708	15.5	450	—	428	—	224	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 508百万円 (114.5%) 25年3月期第3四半期 237百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.09	—
25年3月期第3四半期	29.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	19,048	7,305	38.3	488.35
25年3月期	19,750	7,021	35.5	469.10

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,302百万円 25年3月期 7,014百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,700	8.0	1,129	6.0	1,160	9.8	670	9.3	44.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社グループの業績の主要な部分は、土木建設用資材の受注生産であり、主に公共関連工事に使用されております。このため、経営成績は公共投資の動向に影響を受けると同時に、業績は下半期に偏る傾向があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	15,628,300 株	25年3月期	15,628,300 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	674,218 株	25年3月期	674,218 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	14,954,082 株	25年3月期3Q	7,676,310 株
----------	--------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀による金融緩和への期待感から、円安・株高の流れを背景に企業収益や個人消費が改善するなど、景気の緩やかな回復が見られました。しかしながら、新興国経済の減速や円安による原材料価格の高騰など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと当社グループでは、建設業界の長期的視野での公共投資減少による市場規模の縮小等の困難な問題に対処すべく、中・長期的な安定収益の確保と経営基盤の強化として、次のような取り組みを行ってまいりました。

- 成長市場としての「補修・補強市場」への積極的な事業展開
- 海外（ベトナム）建設市場での事業展開（ハロン～ハイフォン道路Bach Dang橋整備事業）
- PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ＝公民連携）への積極的な取組
- 新製品開発：超高引張強度コンクリート「ESCON（エスコン）」の研究開発
- 事業拡大のためのM&Aによる新事業分野の開拓
- 東日本大震災からの復興に呼応するグループの事業展開

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は128億98百万円（前年同期比10.2%増）と増収となりました。利益面では、株式会社エスイーにおいて復興事業の進展や政府の経済対策に伴う公共工事の景気浮揚策の追い風もあり、また、各連結子会社においても好調な受注や工事に支えられた物件消化が順調に進んだことにより、営業利益7億2百万円（前年同期比55.9%増）、経常利益7億22百万円（前年同期比68.4%増）、四半期純利益4億20百万円（前年同期比87.2%増）となり大幅な増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (建設用資機材の製造・販売事業)

この事業では、環境防災分野において、政府の経済対策に伴う公共工事の景気浮揚策の追い風もあり、国の補正予算についても順次執行された結果、特に、のり面、港湾などの工事に使用される「グラウンドアンカー」の販売が順調に推移いたしました。また、工事現場での職人不足による影響が顕在化しているなか、工場製品である「KIT受圧板」の売上高が前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、この事業の売上高は74億91百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は5億86百万円（前年同期比76.2%増）の増収増益となりました。

#### (建築用資材の製造・販売事業)

この事業では、建築工事に従事する職人の慢性的不足が諸工事全般で解消されず工期遅延・着工延期が生じているものの、建築工事量は増加傾向であるため、主に首都圏市場での資材販売が順調に推移いたしました。また、製造コストの面では、市場全体の原材料価格が上昇しているなか、引き続き抑制および低減の努力を続けてまいりました。

この結果、この事業の売上高は39億25百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は2億76百万円（前年同期比7.3%増）の増収増益となりました。

#### (建設コンサルタント事業)

この事業では、連結子会社である株式会社アンジェロセックの海外展開による継続受注物件の施工管理業務である「ガーナ国道8号線改修計画施工管理」や、技術指導・能力強化業務である「東ティモール国国家開発庁組織能力強化技術支援」などの受注消化活動を展開いたしました。

この結果、この事業の売上高は3億82百万円（前年同期比19.6%減）、営業損失は71百万円（前年同期は69百万円の営業損失）となりました。

(補修・補強工事業)

この事業では、政府による「国土強靱化」を掲げる政策や老朽化した橋や道路、トンネルなどの改修計画の具体化など、社会インフラ老朽化対策の推進を背景に事業を積極展開しております。また、コスト面では、建設工事全般の需要増加による資材費の高騰や労務・技術者不足の問題への対応を図りながら、事業エリア拡大による受注消化体制の強化を推し進めております。

この結果、この事業の売上高は10億98百万円（前年同期比39.5%増）、営業利益は48百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は190億48百万円（前連結会計年度末比7億2百万円減）でありました。内訳は、流動資産134億89百万円（前連結会計年度末比7億37百万円減）、有形固定資産37億10百万円（前連結会計年度末比57百万円減）、無形固定資産3億30百万円（前連結会計年度末比50百万円減）、投資その他の資産15億17百万円（前連結会計年度末比1億43百万円増）でありました。減少の主な要因は、前連結会計年度末に集中した売掛債権の回収が進んだことにより、受取手形及び売掛金が5億36百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は117億42百万円（前連結会計年度末比9億86百万円減）となりました。内訳は、流動負債が81億92百万円（前連結会計年度末比33百万円減）、固定負債が35億49百万円（前連結会計年度末比9億53百万円減）でありました。減少の主な要因は、約定返済による長期借入金が7億43百万円減少、未払法人税等が1億48百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は73億5百万円（前連結会計年度末比2億84百万円増）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金が株主配当金の支払による減少があったものの、四半期純利益の計上による増加があり、利益剰余金は全体として1億95百万円増加し、その他の包括利益累計額（その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定）についても92百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では平成25年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,714,874	4,108,187
受取手形及び売掛金	7,682,187	7,145,462
商品及び製品	285,432	334,529
仕掛品	270,360	439,374
原材料及び貯蔵品	962,903	1,160,957
その他	382,466	370,314
貸倒引当金	△70,317	△68,911
流動資産合計	14,227,907	13,489,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,151,191	1,129,586
機械装置及び運搬具(純額)	279,488	256,999
工具、器具及び備品(純額)	51,193	54,473
土地	2,234,940	2,234,940
リース資産(純額)	43,665	34,254
建設仮勘定	7,056	—
有形固定資産合計	3,767,535	3,710,254
無形固定資産		
のれん	133,334	116,981
その他	247,585	213,367
無形固定資産合計	380,919	330,348
投資その他の資産		
投資有価証券	819,364	963,280
その他	575,362	572,376
貸倒引当金	△20,774	△18,153
投資その他の資産合計	1,373,953	1,517,503
固定資産合計	5,522,408	5,558,106
資産合計	19,750,315	19,048,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,011,534	5,304,223
短期借入金	280,522	330,522
1年内返済予定の長期借入金	1,485,358	1,389,583
1年内償還予定の社債	334,000	309,000
未払法人税等	362,661	214,402
役員賞与引当金	15,000	—
賞与引当金	81,202	38,009
その他	655,904	606,842
流動負債合計	8,226,182	8,192,583
固定負債		
社債	623,000	456,000
長期借入金	2,808,254	2,065,119
退職給付引当金	265,682	266,754
役員退職慰労引当金	440,890	458,505
資産除去債務	44,001	44,595
その他	321,196	258,853
固定負債合計	4,503,024	3,549,827
負債合計	12,729,207	11,742,410
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,228,057	1,228,057
資本剰余金	995,600	995,600
利益剰余金	5,116,382	5,312,159
自己株式	△247,744	△247,744
株主資本合計	7,092,295	7,288,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,427	64,556
為替換算調整勘定	△119,727	△49,813
その他の包括利益累計額合計	△77,299	14,743
少数株主持分	6,112	2,793
純資産合計	7,021,108	7,305,609
負債純資産合計	19,750,315	19,048,020



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	11,708,913	12,898,376
売上原価	8,562,490	9,198,585
売上総利益	3,146,422	3,699,790
販売費及び一般管理費	2,695,557	2,997,038
営業利益	450,865	702,751
営業外収益		
受取利息	500	566
受取配当金	2,202	32,893
受取手数料	9,797	13,134
受取家賃	13,309	13,812
持分法による投資利益	1,646	21,861
貸倒引当金戻入額	4,112	3,926
保険戻戻金	14,529	—
その他	13,579	14,124
営業外収益合計	59,677	100,319
営業外費用		
支払利息	64,244	57,030
売上割引	14,161	16,160
為替差損	684	131
寄付金	2,632	4,585
その他	54	3,159
営業外費用合計	81,776	81,067
経常利益	428,765	722,002
特別利益		
固定資産売却益	—	2,246
受取保険金	—	2,000
特別利益合計	—	4,246
特別損失		
固定資産除却損	3,600	14,341
投資有価証券評価損	4,200	7,018
退職給付引当金繰入額	8,318	—
特別損失合計	16,118	21,359
税金等調整前四半期純利益	412,646	704,890
法人税等	191,542	288,120
少数株主損益調整前四半期純利益	221,104	416,769
少数株主損失(△)	△3,350	△3,319
四半期純利益	224,454	420,088

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	221,104	416,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,052	22,728
持分法適用会社に対する持分相当額	15,078	69,314
その他の包括利益合計	16,131	92,043
四半期包括利益	237,236	508,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,586	512,131
少数株主に係る四半期包括利益	△3,350	△3,319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサル タント事業	補修・補強 工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,773,196	3,668,727	475,420	787,308	11,704,652	4,260	11,708,913
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,834	—	8,970	1,650	16,454	—	16,454
計	6,779,030	3,668,727	484,390	788,958	11,721,107	4,260	11,725,368
セグメント利益又は損失 (△)	333,068	257,451	△69,293	△4,606	516,618	528	517,146

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオマス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	516,618
「その他」の区分の利益	528
セグメント間取引消去	11,554
全社費用 (注)	△60,603
のれんの償却	△17,232
四半期連結損益計算書の営業利益	450,865

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサ ルタント事 業	補修・補強 工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,491,741	3,925,971	382,436	1,098,226	12,898,376	—	12,898,376
セグメント間の内部売上 高又は振替高	119,519	2,465	1,443	—	123,428	—	123,428
計	7,611,260	3,928,437	383,879	1,098,226	13,021,804	—	13,021,804
セグメント利益又は損失 (△)	586,740	276,176	△71,729	48,695	839,883	—	839,883

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	839,883
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	3,618
全社費用(注)	△124,397
のれんの償却	△16,353
四半期連結損益計算書の営業利益	702,751

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。